



## 初期設定

- ネットワークの要件 (1 ページ)
- Cisco Unified Communications Manager 要件 (3 ページ)
- 電話機バッテリーの取り付け (6 ページ)
- バッテリ接触面損傷防止 (11 ページ)
- 電話機バッテリーの充電 (12 ページ)

## ネットワークの要件

Cisco Wireless Phone 840 および 860 のネットワーク要件には、以下が含まれます。

- Cisco Unified Communications Manager (Unified Communications Manager) :
  - 最小 : 11.5(1)
  - 推奨 : 12.5(1) 以降

- 対応 Wi-Fi アクセスポイント。

サポートされているアクセスポイントオプションについては、『[Cisco Wireless Phone 840 および 860 導入ガイド](#)』を参照してください。

電話機は、Unified Communications Manager サーバー構成に DHCP オプション 150 または 66 を使用します。ネットワークが DHCP オプション 150 または 66 を提供しない場合、または間違っ た Unified Communications Manager サーバーを指している場合は、シスコ電話アプリでサーバーを手動で構成する必要があります。

ネットワークのホストは、DHCP を使用して初期構成情報を取得します。これには、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTP サーバーアドレスがふくまれます。DHCP により、各ホストに IP アドレスやその他の設定情報を手動で設定する管理負担が軽減されます。また、DHCP により、デバイスをサブネット間で移動したときに、ネットワーク設定が自動的に再設定されます。構成情報はネットワーク内にある DHCP サーバーから提供されます。このとき、DHCP サーバーは、DHCP 対応のクライアントから送信される DHCP リクエストに応答します。このドキュメントではサーバーを HTTP サーバーと呼びますが、実際に使用される通信プロトコルは HTTP または HTTPS です。

これらのデバイスの展開を簡素化するには、DHCP を使用するように電話機を設定します。Request for Comments (RFC) 2131 準拠の DHCP サーバーを使用して、電話機に設定情報を提供します。

DHCP オプション 150 または 66 に依存するように電話機を構成して、Unified Communications Manager HTTP サーバーから入手可能なテレフォニー構成情報のソースを識別します。オプション 150 または 66 には、1 つの Unified Communications Manager HTTP サーバーを持つシステムに 1 つの IP アドレスが含まれているか、同じクラスタ内に 2 つの HTTP サーバーがある展開の場合は 2 つの IP アドレスが含まれている必要があります。

プライマリ HTTP サーバーにアクセスできなくなった場合、電話機は 2 つめのアドレスを使用します。その結果、冗長性が確保されます。HTTP サーバー間で冗長性とロードシェアリングの両方を実現するには、DHCP スコープの半分において 2 つの HTTP サーバーアドレスが逆の順序になるように、オプション 150 または 66 を構成します。

オプション 150 または 66 に対して、電話機は、直接 IP アドレスを使用します（つまり、ドメインネームシステム (DNS) サービスに依存しない）。これは、使用することで、電話機のブートや登録中にドメインネームシステム (DNS) サービスの可用性に依存しなくなるためです。



- 
- (注) リリース 1.3(0) 以降では、WLAN コントローラまたはアクセスポイントの呼制御と音声に対して、コールアドミッション制御 (CAC) とトラフィック仕様 (TSPEC) を有効にすることができます。詳細については、『[Cisco Wireless Phone 840 および 860 導入ガイド](#)』を参照してください。
- 



- 
- (注) デフォルトでは、Cisco Wireless Phones は、Network Time Protocol (NTP) リクエストをインターネットのサーバーに送信して、日付と時間を取得するか、**カスタム設定**アプリで設定下内部 NTP サーバーに送信します。

リリース 1.5(0) 以降では、DHCP オプション 42 でサーバーを定義すると、NTP サーバーが使用できない場合の代替 NTP サービスを利用できます。インターネットがないなど、NTP サーバーが利用できない場合、電話機は DHCP オプション 42 で定義したサーバーから時刻ソースを取得します。

---

#### 関連トピック

[その他カスタム設定](#)

## Cisco Wireless Phone 840 および 860 導入ガイド

『[Cisco Wireless Phone 840 および 860 導入ガイド](#)』には、Wi-Fi 環境内のワイヤレスフォンに関する有益な情報が記載されています。

# Cisco Unified Communications Manager 要件

Cisco Wireless Phone 840 および 860 の Cisco Unified Communications Manager (Unified Communications Manager) 要件には、次が含まれます。

- Unified Communications Manager 11.5、12.5、14.0 以降
- シスコオプションパッケージ (COP) ファイルの両方を Unified Communications Manager にインストールします。
  - デバイスイネーブラ QED インストーラ Unified Communications Manager で Cisco Wireless Phone 840 および 860 を有効にします。
  - 電話機ソフトウェアすべてのシスコアプリに対してソフトウェアを更新します。



(注) Cisco Wireless Phone 構成管理ツールを使用して電話機を構成する場合は、リリース 1.5(0) 以降のファイルをインストールします。

## デバイスイネーブラ QED インストーラファイル

Cisco Unified Communications Manager (Unified Communications Manager) デバイスイネーブラ QED インストーラシスコオプションパッケージ (COP) ファイルには、電話機を登録する構成ファイルが含まれており、電話機の機能を有効にします。最新の デバイスイネーブラ QED インストーラ COP ファイルを Unified Communications Manager にインストールすると、Cisco Wireless Phone 840 および 860 は、Unified Communications Manager に登録され、電話機機能にアクセスできるようになります。新規機能は、デフォルトで Off になっている場合があるので、属性や設定の構成が必要です。

## 電話機ソフトウェアファイル

電話機には、工場での製造過程で、電話機ソフトウェアのバージョンがインストールされます。ただし、そのソフトウェアは最新バージョンではない可能性があります。

Cisco Unified Communications Manager はソフトウェアロードを保管します。電話機のソフトウェアバージョンが最新のバージョンではない場合、Cisco Unified Communications Manager は、更新済みのソフトウェアロードを電話機に送信します。



**注意** 電話機ソフトウェアは以前のバージョンにダウングレードできません。電話機にインストールできる電話機ソフトウェアの最低バージョンは、工場出荷時にインストールされたバージョンです。ただし、電話機ソフトウェアをアップグレードすると、そのバージョンは、最も低いソフトウェアバージョンになります。工場出荷時設定へのリセットを実行しても、電話機ソフトウェアはインストールされている最新バージョンのままです。

## 電話機構成ファイル

電話機の構成ファイルは、HTTP サーバーで保管され、Cisco Unified Communications Manager (Unified Communications Manager) への接続用パラメータを定義します。Unified Communications Manager で電話機のリセットが必要となる変更を行うと、通常は、変更内容が電話機の構成ファイルに自動的に反映されます。

構成ファイルには、電話機がどのイメージロードを実行するかも記述されています。このイメージロードが電話機にロードされているものと異なる場合、電話機はHTTPサーバーにアクセスし、必要なロードファイルを要求します。

Cisco Unified Communications Manager の管理でセキュリティ関連の設定を行うと、電話機の構成ファイルに重要な情報が保存されます。構成ファイルのプライバシーを確保するには、そのファイルを暗号化用に設定する必要があります。詳細については、特定の Unified Communications Manager リリースのマニュアルを参照してください。Unified Communications Manager でリセットおよび登録されるたびに、電話機は構成ファイルを要求します。

## COP ファイルを Cisco Unified Communications Manager にロードする

Cisco Wireless Phone 840 および 860 デバイスイネーブラ QED インストーラ および電話機ソフトウェア シスコオプションパッケージ (COP) ファイルをクラスタ内の各 Cisco Unified Communications Manager (Unified Communications Manager) にインストールする必要があります。



(注) これらの COP ファイルは、sha512 チェックサムで署名されています。バージョン 14 より前の Cisco Unified Communications Manager バージョンには、sha512 のサポートは自動的に含まれません。

最初のインストールでは、最初に デバイスイネーブラ QED インストーラ ファイルをインストールし、次にソフトウェアファイルをインストールします。

将来のソフトウェアアップデートについては、対応する デバイスイネーブラ QED インストーラ アップデートが常にあるとは限りません。ソフトウェアを更新できる場合は、デバイスイネーブラ QED インストーラ ファイルの最新バージョンを確認して、更新する必要があるかどうかを確認します。



- (注) 新しいソフトウェアリリースごとに、シスコアプリも Play Store で更新されます。ただし、電話機をエンタープライズモビリティ管理 (EMM) アプリケーションで管理している場合は、アプリの非互換性のリスクを最小限に抑えるために、電話機のファームウェアを更新することをお勧めします。

#### 始める前に

- 「[ソフトウェアダウンロード](#)」 サイトから デバイスイネーブラ QED インストーラ および電話機ソフトウェア COP ファイルをダウンロードします。



- (注) Cisco Wireless Phone 構成管理ツールを使用して電話機を構成する場合は、リリース 1.5(0) 以降のファイルをインストールします。
- Unified Communications Manager バージョン 11.5 または 12.5 があり、まだ sha512 チェックサムサポートを有効にしていない場合は、`ciscocm.enable-sha512sum-2021-signing-key-v1.0.cop.sgn` をインストールします。



- 注意** このタスクを実行する適切な時間を選択します。Unified Communications Manager のバージョンで再起動を必要としない代替プロセスが提供されていない限り、このタスクの一環として、デバイスイネーブラ QED インストーラ COP ファイルをインストールした後にクラスタ内のそれぞれの Unified Communications Manager を再起動する必要があります。

Unified Communications Manager バージョンの『*Cisco Unified Communications Manager* アドミニストレーションガイド』の「デバイスファームウェアの管理」セクションを参照して、再起動を必要としないインストールプロセスが許可されているかどうかを確認してください。

#### 手順

- ステップ 1** クラスタの各 Unified Communications Manager で、**[Cisco Unified OS の管理 (Cisco Unified OS Administration)]** > **[ソフトウェアアップグレード (Software Upgrades)]** > **[インストール/アップグレード (Install/Upgrade)]** の順に選択します。
- ステップ 2** ソフトウェアの場所データを入力します。
- ステップ 3** **[次へ (Next)]** をクリックします。
- ステップ 4** COP (.cop.sha512) ファイルを選択します。

- (注) COP ファイルが使用可能なファイルリストに表示されない場合は、sha512 チェックサムサポートが有効になっているか確認してください。

- ステップ5** [次へ (Next) ]をクリックして、COP ファイルを Unified Communications Manager にダウンロードします。
- ステップ6** ファイルチェックサム詳細が正しいか確認します。
- ステップ7** [次へ (Next) ]をクリックして、COP ファイルを Unified Communications Manager にインストールします。
- ステップ8** [他をインストール (Install Another) ]をクリックして、手順 2～7 を繰り返し、別の COP ファイルをインストールします。
- ステップ9** インストールした COP ファイルに基づき、[次へ (Next) ]のアクションを実行します。
- a) デバイスイネーブラ QED インストーラ COP ファイルをインストールする場合：
- **11.5(1)SU4 以前の場合：**
    - [Cisco Unified OS の管理 (Cisco Unified OS Administration) ]>[設定 (Settings) ]>[バージョン (Version) ]>[再起動 (Restart) ]の順に選択し、すべての Unified Communications Manager ノードをリブートします。
  - **11.5(1)SU5 以降または 12.5(1) 以降の場合：**
    - すべての Unified Communications Manager ノードで Cisco Tomcat サービスを再起動します。
    - パブリッシュャノードで Unified Communications Manager サービスを実行している場合は、パブリッシュャノードでのみサービスを再起動します。サブスクライバノードの Cisco Call Manager サービスを再起動する必要はありません。
- b) ソフトウェア COP ファイルをインストールした場合、Cisco TFTP サービスが実行されているすべてのノードで Cisco TFTP サービスを再起動します。

## 電話機バッテリーの取り付け

『ユーザーガイド』の「製品の安全とセキュリティ」章にある情報を読んでから、バッテリーを取り付けたり充電したり、電話機を使用してください。

電話機を使用する前に、バッテリーを取り付け、充電する必要があります。バッテリーは電話機にすでに取り付けられていることもあれば、自分で取り付けなければならないこともあります。

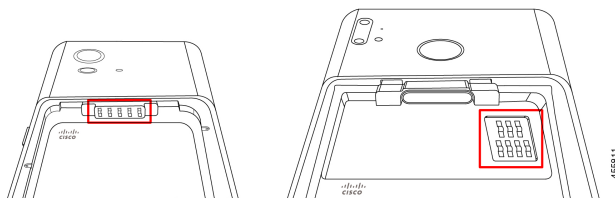
バッテリーの容量と寿命を最大限に延ばすには、電話機の電源を入れてセットアップする前に、バッテリーを完全に充電してください。

## バッテリーの取り付け

ほこりや湿気の多い環境にバッテリーを設置しないでください。

バッテリーを取り付ける手順は、Cisco Wireless Phone 840 も Cisco Wireless Phone 860 も同じです。ただし、次の図に示すように、これらのモデルではバッテリーの接点が異なる場所にあります。手順のイラストは、Cisco Wireless Phone 860 のものです。

図 1: Cisco Wireless Phone 840 および Cisco Wireless Phone 860 のバッテリー接触面



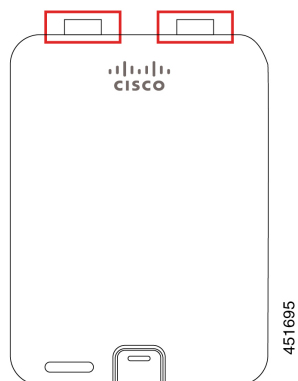
**警告** ハンドセットからバッテリーを取り外すときは、ハンドセット内のバッテリー接触面を損傷しないように注意してください。損傷のおそれがあるため、バッテリーの接触面に触れたり、圧縮したり、接触させたりしないように特に注意してください。



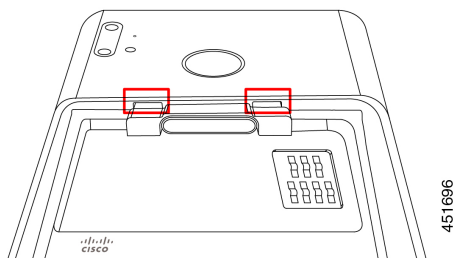
**警告** この電話機には、シスコブランドのバッテリーのみを使用してください。サードパーティのバッテリーを使用しようとすると、エラーが表示され、バッテリーは機能しません。サードパーティのバッテリーを使用したことによる損傷はサポートしていません。

## 手順

**ステップ 1** バッテリーの上端にある 2 つのバッテリータブを見つけます。

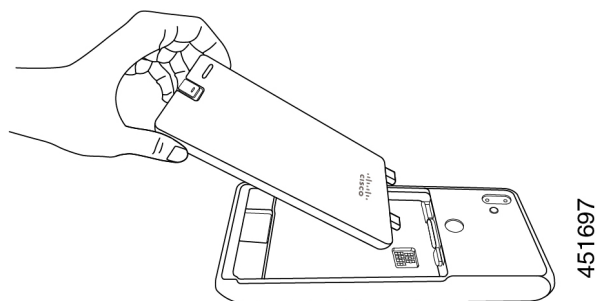


**ステップ 2** 電話機のバッテリー収納部の上部の壁にある 2 つのスロットを見つけます。

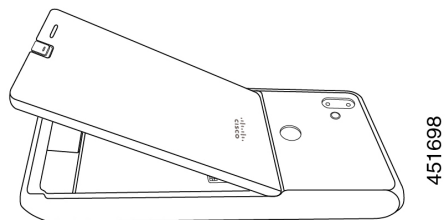


**ステップ3** バッテリーを電話機のバッテリー収納部に対して約45～60度の角度で配置します。

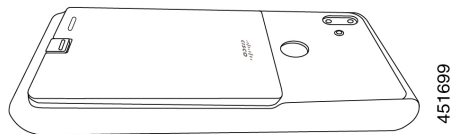
2つのプラスチックタブが付いているバッテリーの端を、バッテリー収納部の2つのスロットに向けます。



**ステップ4** 2つのプラスチックバッテリータブを2つのバッテリー収納スロットに直接挿入します。

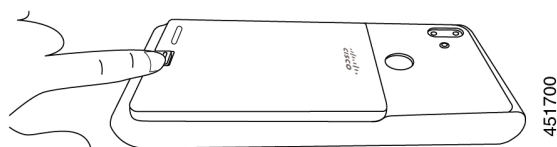


**ステップ5** タブとスロットの接触面をピボットとして使用して、バッテリーを収納部に下ろします。



**ステップ6** バッテリクリップが所定の位置にカチッとハマるまで指で押し下げます。





### 関連トピック

[電話機バッテリーの充電](#) (12 ページ)

## バッテリーの取り外し

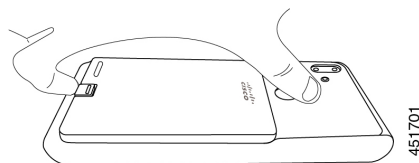
バッテリーの取り外しは、バッテリーの挿入と逆の手順に従います。

バッテリーを取り外す手順は、Cisco Wireless Phone 860 も Cisco Wireless Phone 840 も同じです。ただし、これらのモデルでは、バッテリーの接点異なる場所にあります。次の手順の図は、Cisco Wireless Phone 860 についてです。

### 手順

**ステップ 1** バッテリークリップを外すには、爪を使ってクリップを電話機の上部に向かってゆっくりと押し込みます。

**注意** クリップを引き上げたり、ねじったりしないでください。レターオープナーやドライバーなどの工具を使用して、クリップをこじ開けないでください。誤った操作で工具を使用してこじ開けると、バッテリークリップが破損する可能性があります。

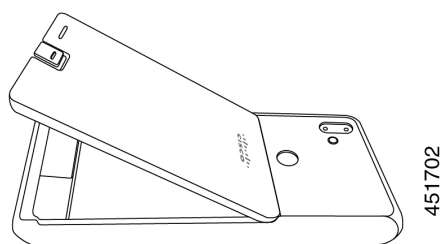


**ステップ 2** 指の爪を使って、バッテリーをバッテリー収納部から 8 分の 1 インチ（数ミリメートル）ほどゆっくりと持ち上げます。

**ステップ 3** バッテリークリップを外し、指でバッテリーをつかみます。

**ステップ 4** バッテリータブとバッテリー収納スロットを支点として使用して、バッテリーの端をバッテリー収納部から持ち上げます。

**警告** 接点が損傷する可能性があるため、バッテリーをバッテリー収納部上でスライドさせないでください。



**ステップ 5** バッテリー収納スロットからバッテリータブをゆっくりと引き出し、バッテリー収納部からバッテリーを持ち上げます。

**警告** バッテリーの一部が電話機のバッテリー接触面に接触しないようにしてください。

## Cisco Wireless Phone 860 および 860S バッテリーのホットスワップ

Cisco Wireless Phone 860 および 860S には、バッテリー残量が少なくなったときに電話機を使い続けることができるホットスワップ機能があります。ホットスワップ中、電話機の内蔵バッテリーは、電話機の電源を入れたままにするために最小限の電力を供給します。

アクティブな電話機の画面での音声通話中やその他のアクティビティ中など、ほとんどの通常の操作でバッテリーホットスワップを実行できます。ホットスワップ中に電話機を積極的に使用したり、消費電力を増加させるものを使用すると、まれに電話機の電源がオフになることがあります。



**注意** ホットスワップ中に使用する新しいバッテリーが適切に充電されていない場合、バッテリー低下アラートが表示され、電話機がシャットダウンします。

電話機の内蔵バッテリーが起動せず、充電されていない場合、バッテリーのホットスワップに失敗する可能性があります。電話機がスリープモードの場合、または電話機の電源を入れたばかりの場合は、内蔵バッテリーが起動せず、充電されていない可能性があります。



**(注)** Cisco Wireless Phone 840 および 840S にはバッテリーが内蔵されていないため、ホットスワップ機能はサポートされていません。

### 始める前に

- ホットスワップ中に使用する新しいバッテリーが適切に充電されていることを確認します。
- 電話機がスリープモードの場合、または電話機の電源を入れたばかりの場合は、スリープを解除して内蔵バッテリーを充電します。

1. 次のいずれかを選択します。
  - 電話機の画面がスリープモードの場合は、電話機のロックを解除して 30 秒間待ちます。
  - 電話機の電源を入れたばかりの場合は、電話機のロックを解除して 3 ~ 5 分待ちます。
2. 電源ボタンを短く押して電話機の画面をオフにし、3 ~ 5 秒待ちます。

### 手順

**ステップ1** バッテリーを取り外します。

**ステップ2** 60 秒以内に新しいバッテリーを取り付けます。

### 関連トピック

[バッテリーの取り付け](#) (6 ページ)

[バッテリーの取り外し](#) (9 ページ)

## バッテリー接触面損傷防止

挿入または取り外し中に、バッテリーの一部をバッテリーの接触部にスライドさせたり引きずったりすると、バッテリーの接触部が損傷する可能性があります。

損傷したバッテリーの接触部が電話機の接触部と適切に接触しないと、次のような問題が発生する可能性があります。

- 電話の電源が入らない。
- 電話機がランダムにシャットダウンする。
- 電話機がシャットダウンする前に、**[無効なバッテリーシャットダウン (Invalid Battery Shutdown)]**メッセージが表示される。

これらの障害シナリオでは、電話機からバッテリーを取り外し、バッテリーの接触部の端子とパッドを調べます。



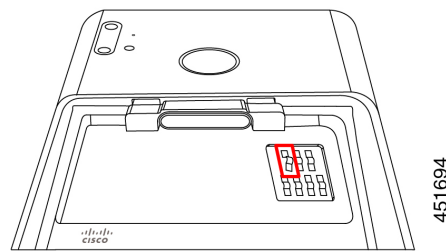
(注) バッテリーの接触部は、Cisco Wireless Phone 840 と Cisco Wireless Phone 860 の異なる場所にあります。

- 接触部が汚れていたり、異物が付着していないか確認してください。電氣的接続を妨げる可能性があります。

- 電話機の接触部の端子が接触部に対してまっすぐで、すべての端子が同じ高さになっていることを確認します。

Cisco Wireless Phone 860 のバッテリー収納部の次の画像では、バッテリーの不適切な挿入による左上の端子の損傷を示しています。

図 2: Cisco Wireless Phone 860 バッテリー接触部の損傷



## 電話機バッテリーの充電



**警告** 爆発の危険性：爆発の危険性のある場所で電話機のバッテリーを充電しないでください。ステートメント 431

次のいずれかのオプションを使用してバッテリーを充電できます。

- USB ケーブル：コンピュータ上の Cisco Unified Communications Manager Attendant Console 電源アダプターを使用すると電話機を充電できます。
- デスクトップ充電器 - 電話機と予備のバッテリーを充電できます。
- マルチ充電器：複数の電話機とバッテリーを同時に充電できます。

電話機やバッテリーの充電時間は、充電方法によって異なります。

- USB ケーブルと AC プラグを使用して電話機を充電するには、約 3 時間かかります。
- USB ケーブルとコンピュータを使用して電話機を充電するには、約 8 時間かかります。
- 通常の状態では、放電したバッテリーはデスクトップまたはマルチ充電器で約 3 時間で完全に充電されます。
- 電話機とバッテリーの両方がデスクトップ充電器にある場合は、電話機が優先されます。そのため、バッテリーの充電に時間がかかります。



- (注) 最良の結果を得るには、周囲温度 50 ~ 86 °F (10 ~ 30 °C) で電話機のバッテリーを充電してください。この温度範囲外でバッテリーを充電すると、充電時間が長くなったり、充電サイクルが不完全になったりします。

バッテリーは約 65° F (20° C) の乾燥した状態で保管してください。



- 注意** Cisco Wireless Phone 860 または 860S のメインバッテリーまたは内蔵バッテリーを完全に消耗させないでください。電話機またはバッテリーを 1 か月以上保管する必要がある場合は、電話機に取り付けられているバッテリーを 6 か月ごとに 100% まで完全に充電することをお勧めします。メインバッテリーを取り外した状態で電話機を 1 か月以上保管しないでください。



- (注) 重大な損傷を受けたバッテリーコンタクトピンは修理不可であり、シスコの保証の対象外です。軽微な変形は、適切なツールを使用してバッテリーコンタクトピンを正しい位置に慎重に曲げて戻すことで修正できます。シスコは、この操作中に発生した損害について責任を負いません。

#### 関連トピック

[AC 電源でバッテリーを充電する](#) (13 ページ)

[USB ケーブルおよびコンピュータの USB ポートでバッテリーを充電する](#) (14 ページ)

[デスクトップ充電器](#)

[マルチ充電器](#)

## AC 電源でバッテリーを充電する

デスクトップ充電器またはマルチ充電器がない場合は、USB ケーブルと AC 電源アダプターを使用すると電話機のバッテリーを充電できます。



- 注意** Cisco Wireless Phone 840 および 860 には、承認された USB ケーブルと電源アダプターのみを使用してください。

#### 手順

- ステップ 1** USB ケーブルをピンを揃えて電話機の下部に差し込みます。
- ステップ 2** USP ケーブルを電源アダプターに差し込みます。
- ステップ 3** 電源アダプターを電源コンセントに差し込みます。

## USB ケーブルおよびコンピュータの USB ポートでバッテリーを充電する

デスクトップ充電器、マルチ充電器、または USB ケーブルと AC 電源アダプターがない場合は、USB ケーブルとコンピュータを使用して電話を充電できます。ただし、この方法は他の方法よりも電話の充電に時間がかかります。



---

**注意** Cisco Wireless Phone 840 および 860 には、承認された USB ケーブルのみを使用してください。

---

### 手順

---

**ステップ 1** USB ケーブルをピンを揃えて電話機の下部に差し込みます。

**ステップ 2** USB ケーブルをコンピュータの USB ポートに差し込みます。

---

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。